

高齢・障害・求職者雇用支援機構が全国で運営する職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）は、求職者の再就職支援を目的とした職業訓練を行いながら、地域の中小企業の人材育成をサポートする「在職者訓練」にも力を入れている。身近な場所で仕事に生かせるスキルを社員に身に付けてもらうと、センターを積極的に活用する経営者も少なくない。

横浜市旭区にあるポリテクセンター関東が在職者訓練として実施する能力開発セミナーは、年間延べ4000人以上が利用。生産現場の現場力強化や技能継承、生産性向上などに役立てており、社員を送り出すほとんどの事業主が「役に

技能教育 レポート

立った」と高く評価する。

住宅や福祉施設の建築工事請負と、不動産の仲介・管理の2本柱で事業を展開する山仁コーポレーション（横浜市戸塚区、吉田隆英社長）も、社員教育の一環で能力開発セミナーに社員を送り込む。「社員が自ら勉強する機会を提供するこ

ポリテクセンター「在職者訓練」



実習で木造軸組構法を学ぶ



吉田社長と指導員の山崎氏

中小企業の社員能力向上をサポート

とでモチベーションアップと、受講できそうな外部講習を探していた。その中でポリテク関東で行われているセミナーの存在を知って「がってきた」という。公的機関のポリテクセンターで

行うセミナーは手ごろな価格で受講でき、社員の能力向上にも生かされると判断した。

同社には建築企画部、不動産部という主力事業を担う部署がある。吉田社長は、現場でものづくりを直接担当する監督職員だけでなく、現場に触れることの少ない社員たちが実践的な現場の知識を習得できる機会と位置付け、「必要な知識を、必要としている人材に習得させる」ため、受講するセミナーを選んで業務の一環で参加させることにした。

「規模の拡大よりも質の向上」を企業理念とする同社は、求職者への会社PRの一つとしてポリテクセンターの活用をうたう。建築工事は、プレカット工場加工された材料を在来りの方で組み上げる軸組構法が主体。将来的には付加価値の高い伝統工法への挑戦も見据える。次の展開に備えた知識の習得へ、ポリテク関東の施設を利用して別途行われる講習会などにも精力的に参加している。各種セミナーを企画するポリテク関東の居住系指導員の山崎氏は、参加する企業の人たちから現場でどのような不具合が起きているかなど生の声を聞くことが、再就職訓練のカリキュラムづくりにも生かされているとする。課題への対応を訓練に取り込み、「より実践に近い訓練で企業ニーズに合った人材を育成したい」としている。

